

こちら航空宇宙推進室 ニュースレター

JAXA連携授業を実施しました

11月20日と21日、大樹中学校と大樹小学校で「JAXA連携授業」を実施しました。町とJAXAが締結した連携協力協定に基づきJAXA職員を講師に招き、大樹町で行っている大気球実験や宇宙に関する講義をしていただきました。

中学校では、JAXAの取組について学んだ後、JAXAが監修した教材をプログラミングアプリ「scratch」を使い、ロケットの打上げをシミュレーションしながらプログラミングの基礎知識について学びました。

小学校では、班ごとに熱気球作りに挑戦しました。巨大なポリエチレンシートを貼り合わせ、ドライヤーの温風を入れて手を放すと気球がふわりと浮き上がっていき、見事全ての班が熱気球実験に成功しました。

今後もJAXAと連携し、実験利用を通じた航空宇宙産業の発展や宇宙教育活動を推進します。

<プログラミングの講義>



<熱気球浮遊>



十勝管内の市町村職員がHOSPOを見学しました

11月26日、十勝総合振興局が主催となり、十勝管内の市町村職員向けに「北海道スペースポート見学会」を開催しました。

振興局では、大樹町に限らず、十勝管内全体で宇宙関連産業の企業誘致に取り組んでいます。今回は北海道スペースポートの現在地やポテンシャルの理解を図り、十勝への誘致にあたり体制を強化することを目的に実施しました。

当日は、6市町村の11名のほか、振興局の職員25名が参加し、現在建設工事中の人工衛星搭載用ロケット射場「Launch complex 1」や1,300m滑走路を見学しました。

今後、振興局が各市町村のオフィスや工場などの建設に適した用地をリスト化し、十勝での誘致を促す資料として宇宙関連企業へ提供されます。

<見学の様子>



学習院大学と産官学連携協定を締結しました

11月20日、大樹町とSPACE COTAN（スペースコタン）、学習院大学の三者で、「宇宙分野における産官学連携協定」の締結式を実施しました。

学習院大学は、宇宙利用に関する研究・教育に取り組んでおり、長年宇宙のまちづくりを進めている大樹町に産学官連携拠点の構築を検討しています。

今後、学習院大学の宇宙利用分野の知見を活かし、国内で不足する宇宙関連人材の育成や地域社会の発展などに取り組みます。



左：学習院大学 遠藤学長、中央：大樹町 黒川町長、右：SPACE COTAN 小田切社長

大樹宇宙ボランティアサークル 水ロケット製作指導

12月8日、大樹高校の「大樹宇宙ボランティアサークル」が、日本宇宙少年団大樹分団の活動で「水ロケット製作」を指導しました。

大樹宇宙ボランティアサークルは、大樹高校の宇宙に関する地域活動を行うサークルで、6人が所属し、宇宙のまちの活性化に取り組んでいます。

生徒は、事前に水ロケットの作り方や仕組みを学び、宇宙少年団大樹分団員ら11名へ指導から打上げの支援まで担いました。

< 活動の様子 >



北海道応援セミナーに参加しました

11月18日、東京都で開催された「ほっかいどう応援セミナー」に黒川町長が参加しました。

ほっかいどう応援セミナーは、首都圏の企業へ、知事や市町村長が地域の魅力の発信や応援を求める場として北海道庁が開催しているものです。

黒川町長は、大樹町の宇宙のまちづくりについて説明し、現在建設中のロケット射場「Launch Complex 1 (LC1)」へ企業版ふるさと納税の寄附を呼びかけました。また、ブースでは町の特産品の大樹漁業協同組合のガーリックつぶを提供し、食や観光などの町の魅力もPRしました。

< セミナーの様子 >

